



田尻町議会だより

たじりの

8765

風

Vol.114

平成30(2018)年
2月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



ご成人おめでとうございます

今年は160名の方が新成人になりました

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ 町村監査委員全国研修会報告 7 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 防災拠点（避難所）の見直しについて
- 小林 健治 議員 1. 田尻町公共施設等維持整備基金について
- 東 小夜子 議員 1. 幼児教育の無償化について
2. 就学援助について
3. 通級学級について
4. ふるさと応援寄附の使い道について
- 金田 裕治 議員 1. 役場の機構改革は行わないのか
- 坂口 実 議員 1. 幼児教育の無償化
2. 新たな人口増加策
- 吉開 育子 議員 1. 「災害時の受援（応援の受入れ）体制」の整備を
2. マンホールトイレの整備を求める
- 小川 雄司 議員 1. 国保料の新たな「仮算定」について
2. 来年度に改定される介護保険料について
- 仁部 順行 議員 1. 田尻町の観光対策、インバウンド（外国人観光客）対策について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



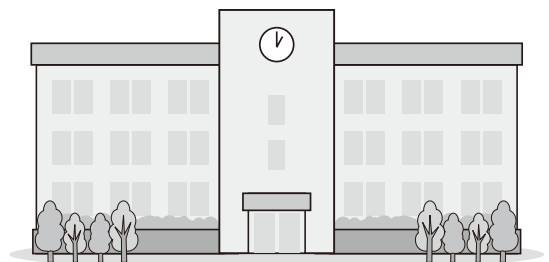
大門 久恭 議員

問 防災拠点、避難所の見直しを

答 今後は、避難所における設備等の環境整備を図る

問 防災体育館を漁港横の空き地に建てる計画が反対多数で否決になり、栗山町政では白紙に戻すことになった。その後、ふれ愛センターと小学校を一時避難所にすれば受け入れ人数が足りるとのことで、新たな施設の建設は行わない方針が出された。人口が減少しているわけでもないのに、なぜ受け入れ人数が足りたり足りなかったりするのかわからない。また、ふれ愛センターや小学校はすぐ近くまで浸水範囲になっており、道路が使用できず、避難所の運営に支障が生じる可能性が高い。そこで、防災拠点体育館を府道堺阪南線より上に建設する計画を再度検討してはどうか。

答 **危機管理課長** 本町の防災計画では、地震発生直後の一時的な避難場所としてふれ愛センターと田尻駅上広場、津波警報発令時の安全確保のため一時避難できる場所として田尻駅上広場を指定している。身の安全を確保した後、住居に戻れない場合の避難所として、ふれ愛センターと小学校を指定している。受け入れ人数は、巨大地震等による最大震度を想定し算定された1,617人となっており、不足は出ていない。各避難所周辺に浸水想定はあるものの、浸水しない経路も有しており、輸送に必要な経路の確保も可能と考えている。今後は、避難所における設備等の環境整備を図る。





小林 健治 議員

問 田尻町公共施設等維持整備基金は必要か

答 活用を図る

問 田尻町公共施設等総合管理計画において、老朽化による建物施設やインフラ施設の維持管理、大規模改修及び更新の費用として、本年度以降23年間に約120億円が必要であるとされている。また、平成29年9月定例会において、田尻町公共施設等維持整備基金条例が制定されている。今後、どのような考え方をもち基金への積立てを行い、公共施設等の維持管理を実施していくのか。

答 **総務課長** 田尻町公共施設等維持整備基金については、財政的な安全面を考慮し、財政調正基金残高を標準財政規模の4割程度としたうえで、残りの額を積立てることを検討している。また、公共施設等の維

持管理については、個別施設ごとの計画を策定することにより推進を図る。

問 公共施設等維持整備基金に多額の基金を積立てる必要があるのか。

答 **総務課長** 公共施設等の大規模改修や更新費用等を勘案すると、財政負担の平準化及び軽減を図り、安定的な財政運営を進めていくには、公共施設等維持整備基金に積立てを活用していくことは必要であると考えている。



東 小夜子 議員

問 幼児教育の無償化は

答 できることから実施する

問 0歳から5歳までの全ての幼児を対象とした幼児教育の無償化を国に先行して考えるべきでは。

答 **町長** 国の制度設計にかかわらず町としてできることから実施していく。小さい子どもには、受け入れる体制整備を議論していく。

要望 3歳、4歳、5歳児の無償化については、所得制限、私立、児童発達支援利用料、給食費をどうするのか考えていくべき。保育所は、病児病後保育も考えるべき。

問 就学援助新入学児童生徒用品入学前支給を

答 今年度中に実施する

問 就学援助の新入学児童生徒学用品費の入学前支給を考えるべき。

答 **学事課長** 今年度中に入学前支給は実施する。





金田 裕治 議員

問 役場の機構改革を

答 現在のところは考えていない

問 子育てに関する課がこども課と学事課にまたがっているなど、ワンストップ行政の形になっていない。栗山町政も2年がたち、より独自のカラーを出すためにも役場の機構改革を行ってはどうか。

答 **学事課長** 兄姉が小学校、弟妹が幼稚園、といったときは学事課とこども課がふれ愛センターの同じ1階フロアにあり、片方の課で手続きを進めている間にもう片方の課で手続きを進め、待ち時間の短縮を図れるので、現在のところ統合する予定はない。

問 町長の重点施策である「たじり8000人大家族プロジェクト」を進めるために新しい課を設置することはしないのか。

答 **町長** いろんなところにまたがっているプロジェクトの調整を現在は企画が行っており、現在のところ機構改革が必要だということまでは至っていない。



坂口 実 議員

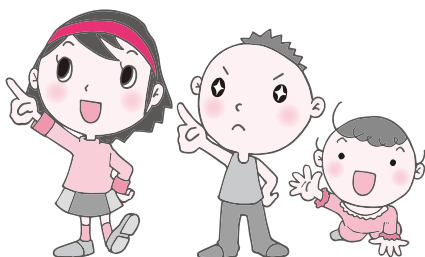
問 幼児教育の無償化及び完全無償化は

答 今後の国の制度で

問 幼児教育の無償化及び完全無償化は。

答 国の基準に基づき、就学前の保育料を定め、多子軽減や非課税世帯を条件付きで第2子が半額、第3子以降は無償化を既に実施している。

幼児教育の無償化に向けて、今後は国の制度設計を注視しながら取り組んでいく。



問 新たな人口増加策は

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略を展開する

問 新たな人口増加策は。

答 平成28年3月策定の田尻町人口ビジョンの通り、人口構成年齢、自然増減、転出入人口、住宅地開発等による人口増と、あらゆる角度から検証した結果、本町の人口推移は、2020年の8,687人をピークに減少を始め、2050年には8,003人に減少する。

そこで、田尻町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた各施策を展開し、人口の移動率と出生率を改善させ、人口減少を食い止める。

2050年においても8,700人を維持する計画であり、総合戦略に位置づけた施策を総合的に順次おこなっていく。



吉開 育子 議員

問 災害時の受援体制の整備は

答 検討していく

問 熊本地震では「災害対応に多くの自治体職員やボランティアの応援を受け入れる受援体制が整備されていなかったことから、発災直後から10日間は混乱した」という。国は熊本地震での課題などを踏まえ「地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン」を策定した。田尻町もガイドラインをもとに「受援体制」の整備を求める。

答 **担当課長** 現在、大阪府が地域防災計画の修正、受援計画の策定を予定しており、それを踏まえ地域防災計画の修正時に検討していく。

問 マンホールトイレの設置を

答 地域防災計画への反映を検討する

問 マンホールトイレは、下水道管につなぎ、下水を利用してし尿を流すというもので災害時に安心して快適に使える。国はガイドラインを策定し、マンホールトイレの普及・推進をしている。田尻町もマンホールトイレを整備し、避難時に待たずに安心して快適なトイレ環境をつくるべき。また、仮設トイレを住民に展示を。

答 **担当課長** マンホールトイレは、位置などによっては管を引き込む必要があり別途経費がかかる。地域防災計画で仮設トイレ17個と定め、十分対応可能と考え、現時点でマンホールトイレの整備は考えていないが、ガイドラインを踏まえ、水道関係部局と連携し、地域防災計画等への反映について検討していく。仮設トイレを見ていただく機会をつくる。



小川 雄司 議員

問 国保料の府内統一への対策は

答 激変緩和策の拡充などを求める

問 府が10月末に発表した来年度からの国保料の府内統一の試算では、府内43市町村のうち、田尻町をはじめ31町村で1人当たりの保険料があがる。田尻町では、1人当たり年額18,916円増える。低所得者ほど深刻である。40歳代ご夫婦と子ども2人の4人世帯で年額所得200万円の場合で、年額39,083円の増加である。どう考えているのか。

答 田尻町として府に、保険料の激変緩和措置策の拡充、保険事業の拡充を求める意見を提出している。

問 来年度改定の介護保険料で負担軽減策を

答 町独自の負担軽減策は考えていない

問 介護保険料は3年ごとに見直しされ、来年度は7期目の改定である。田尻町は団塊の世代が75歳となる2025年の介護保険料は基準月額で8,000円を推計している。7期目の改定でも保険料を引き上げる要因ばかりであり、改定にあたっては厳しい様相である。高齢者の生活を守るため、町独自に一般会計からの繰り入れや金銭給付などの負担軽減策の実施をされたい。

答 厚生労働省は、介護保険料の軽減は「一般財源から繰り入れない」との原則を示し、田尻町もこれを遵守している。また、町独自の金銭給付などによる高齢者の負担軽減策についても考えていない。



仁部 順行 議員

問 田尻町の観光、インバウンド対策を

答 課題があるが検討して行く

問 関西空港で運行している、たじりっちデザインのラッピング連節バスを使い田尻町をアピールしているが、インバウンドの対策を何も行っていないのが現状である。また田尻町の観光事業といっても漁組が行っている日曜朝市と漁業体験くらいである。関西国際空港は交通の利便性を上げ、外国人がどんどん増えてはいるが、田尻町は観光のための通過点で、買い物といっても食品、日用品程度である。今後は田尻町を観光してもらえる状況をつくっていかねばならない。そこで、漁組とタイアップして観光クルーズ船を提案する。飛行機の離発着を眺め、遠くは夕陽の沈む明石海峡大橋を眺めるといったことを田尻町の起爆剤としてはどうか。

答 田尻漁業協同組合等と連携した観光事業のさらなる促進が必要と認識している。提案の観光クルーズ船は海上運送法に基づくもので、旅客船の届で認可等、課題があるが、漁組の考えを確認して、調査、研究して行く。

問 デザインマンホールを提案する

答 カラーマンホールの設置も検討する

問 観光地で写真のコレクターもいる色のついたデザインマンホールやマンホールカードの作成を提案する。真っ黒のマンホールに比べ、町の景観も明るく、歩いていても町の雰囲気はひと目でわかり、イメージアップにも繋がる。

答 現在はデザインマンホールを採用していますが、今後は田尻町や下水道のPRの為、カラーマンホールの設置も検討して行く。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 坂口 実

審査結果並びに経過報告 (12月11日開催)

◎田尻町職員の育児休業等に関する条例一部改正の件 (条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 育児休業の延長を申請する場合、保育所に入所できない旨の証明書の提出は必要か。

答 必要である。

文教厚生常任委員会

委員長 中川 達夫

審査結果並びに経過報告 (12月12日開催)

◎田尻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び田尻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件 (条例の一部改正) 【全会一致で可決】

◎平成29年度田尻町一般会計補正予算(第6号)の件 (15万9千円の増額) 【全会一致で可決】

問 要保護等就学援助費の入学前支給日について、生活保護費の支給日に併せ、3月5日に支給できるよう事務を進めるべきと思うがどうか。

答 申請受付後に転出ができるだけ無いように、3月1日現在で本町に在住していることを条件に、受付けを行

うことから、3月5日の支給については難しい。

問 平成27年度に文部科学省が就学援助費の支給状況について調査した内容において、岸和田市以南の自治体では、認定基準を広げて設定しているところもあり、本町においても基準を緩和したらどうか。

答 他の自治体の状況については把握しているが、各自治体の認定等級区分が異なるなど、一概に比較できるものではない。

今後においても、状況の変化に注視し、事務を進めていきたい。

◎平成29年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の件

(418万5千円の増額) 【全会一致で可決】

◎平成29年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第2号)の件

(39万7千円の増額) 【全会一致で可決】

問 要支援1、2の方が、総合事業に変わってからデイサービス等が受けられなくなったケースがあると聞いているが、その状況を個々チェックする等把握しているか。

答 総合事業に変わって、サービスは低下しておらず、逆に拡充している。

審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×
特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×
田尻町一般職の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例一部改正の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

平成29年度 町村監査委員全国研修会

報告者 監査委員 東 小夜子

去る平成29年11月1日(木)～2日(金)に東京都港区のメルパルクホール東京において開催された平成29年度町村監査委員全国研修会を受講しました。

1日目に「地方自治法の改正について」と「効率的監査の執行と監査責任について」2日目は「自治体債権の適正管理と監査の具体的ポイント」について勉強してきました。

監査とは、作成された会計記録が適正であり、一般に認められた会計原則に準拠しているかどうかを、その記録を作成した者以外の第三者が立証するために行う手続きであることから、監査委員としての責任の重大さを再認識したところであります。

これからの人口減少社会に的確に対応し、町に対する住民の信頼を向上させるよう監査事務について、より一層努力していきたいと思いました。



この人に インタビュー

田尻郵便局長
井戸前 祐輔さん (31)

- Q** 田尻町において何か団体活動をされていますか。
- A** 現在、「たじり t r y ・あんぐる」のウォークラリー部会長を務め学校・地域の方々とともに、子どもの健全育成を目指しています。
- Q** 趣味・楽しみは？
- A** 趣味はカラオケ（その時の心情に合った歌詞を歌います）です。楽しみは3人の子どもたちと、親子で触れ合うことです。例えば、親子で散歩、自転車で町内探検することで、親子の絆（和）が深まり、また、健康な身体、体力づくりになると考えています。
- Q** 田尻町の好きなのところは？
- A** コンパクトタウンの田尻町は、人の繋がりが広く深い親しみを感じます。また、新興住宅が建ち新しい住民さんが増えており、交流を拡げていきたいと思っています。



- Q** 最後に一言を
- A** 工作上、郵便局を利用される方々のため、常にサービス向上を目指しております。
- 田尻町は生まれ育った町ですので、貢献できることがあれば、局また個人として、積極的に参加していきたいと思っています。



田尻町議会のチャット教えて



Q マンホールトイレってナニ??

A マンホールトイレとは下水道管路にあるマンホールの上に簡易便座やパネル、テント等で作った、災害時に使用することができる個室のトイレのことです。災害時には、トイレに行くことを控える被災者が体調を崩すことがあるため、迅速にトイレ機能を確保できるマンホールトイレは、東日本大震災や熊本地震でも活用されました。



Q マンホールカードってナニ??

A マンホールカードとは表面にはマンホールのふたの写真と設置場所の緯度・経度が記載され、裏面にはデザインの由来が紹介されているカードのことです。カードの入手方法は、それぞれの自治体の市役所等に行くことで無料で入手することができます。人気のカードは入手困難になるものもあります。